

特集

# もっと AI を活用する！ 明日から使えるヒントと将来展望



## ●企画にあたって

おかげさまで、本誌『臨床眼科』は2026年に創刊80周年を迎えます。これを記念し、1月号・2月号の特集では、眼科領域の進歩を振り返るとともに将来像を見据えながら、明日からの診療に活かしていただけるようなテーマで特別企画を組みました。

2月号では特集「もっと AI を活用する！—明日から使えるヒントと将来展望」をお届けいたします。近年、生成 AI はさまざまな分野で活用されるようになり、眼科医療の領域も例外ではありません。例えば、眼底画像の自動解析による疾患スクリーニングや、診療記録の効率化、さらには研究デザインや論文執筆の支援など、生成 AI は臨床・研究の現場において欠かせない存在になりつつあります。

本特集では、生成 AI の基本から眼科診療・研究への応用、業務効率化の実践例、さらに AI 診断の最新動向と将来展望までをわかりやすく解説いたします。

『臨床眼科』編集室